



CLESSIDRA

デロンギ
クレシドラ
ドリップコーヒーマーカー

型式番号
家庭用

ICM17270J

※本体の型式番号「ICM17270J」の後に続くハイフンおよびアルファベットは色番号を表すものです。

取扱説明書

保証書付



このたびは、デロンギ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

本書に記載の内容は、改善のため予告なく変更する場合があります。

もくじ

使う前に	安全上のご注意	2
	各部のなまえとはたらき	4
	初めて使う前に	6
使う	コーヒーをいれる	7
	アイスコーヒーをいれる	10
	お手入れ	11
こんなときは	故障かな？	12
	仕様	13
	別売品	13
	アフターサービス	14
	保証書	15

安全上のご注意

各注意事項を必ずお守りください

- ご使用の前に必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
- ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人への損害を未然に防止するものです。



警告

誤った取り扱いをしたとき、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの



注意

誤った取り扱いをしたとき、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつく可能性のあるもの

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です)



必ずしなければいけないことを示します。



してはいけないことを示します。

警告



定格 15 A (100 V) のコンセントを単独で使用する

(火災、感電の原因)

※ゆるんだコンセント、延長コード、テーブルタップなどは使用しない

※海外など異なる電源電圧の地域で使用しない
(日本国内専用)

電源プラグは根元までしっかりと差し込む

(火災の原因)

電源プラグやコンセントのほこりなどは定期的に乾拭き掃除をする

(火災の原因)

電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜く

(火災、感電の原因)

異常、故障時には直ちに使用を中止する

(火災、感電、やけどの原因)

<異常、故障例>

- 電源プラグ・コードが異常に熱くなる
- 異常な音やにおいがする
- 本体に破損や変形がある
- 本体が転倒または落下し、損傷した
- 本体から水や蒸気が漏れる

異常、故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または当社へ点検、修理を依頼してください。



濡れた手で本体を触ったり、電源プラグを抜き差ししない

(感電の原因)

電源プラグ・コードを破損させない

(火災、感電の原因)

- 傷付けたり、加工したり、加熱したりしない
- 無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない
- 引っ張ったり、重いものを載せたり、挟み込んだりしない
- コードを引っ張って本体を移動させない

電源プラグ・コードに破損、変形などの異常があるときは直ちに使用を中止し、販売店または当社へ点検、交換を依頼してください。

本体や電源プラグ・コードに水をかけたり、水に浸けたり、水洗いしたりしない

(火災、感電の原因)

誤って水をこぼしてしまった場合は直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または当社へ点検、修理を依頼してください。

動作中に電源プラグを抜き差ししない

(火災、感電の原因)

電源コードはテーブルなどの端から垂らしておかない

(やけど、けがの原因)

警告



子供など取り扱いに不慣れな方、介助が必要な方だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使用しない

(火災、感電、やけど、けがの原因)

※本製品は、安全に関する知識や経験が少ない方の使用は想定しておりません。お子様、乳幼児、取り扱いに不慣れな方が近くにいるときは、必ず操作できる大人が付き添ってください。また、子供が機器（電源コード含む）で遊ばないように監視してください。

分解、修理、改造をしない

(火災、感電、やけどの原因)



蒸気口に顔や手などを近づけない
(やけどの原因)

保温プレートにガラスジャグがない状態で使わない

(やけどの原因)

抽出中、抽出直後に本体ふたを開けたり、水タンクに水を入れたりしない

(やけどの原因)

※お湯が吹き出す場合があります。

穴、すき間、開口部に指やピン・針金などを差し込まない

(火災、感電、けがの原因)

※特に小さなお子様にはご注意ください。

注意



使用後は必ず電源プラグを抜く

(火災、感電、けがの原因)

お手入れや保管、本体の移動は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体各部や付属品が冷えてから行う

(感電、けが、やけどの原因)



他の用途で使用しない

(火災、感電、けがの原因)

火気の近くや直射日光が長時間あたる場所で使用しない

(火災、感電の原因)

- 熱源の近くで使用しない
- 屋外や湿気の多い場所で使用しない

不安定な場所で使用しない

(火災、やけどの原因)

使用中および使用後しばらくは、高温部に直接触れない

(やけどの原因)



高温注意



決められた水量を超える水を水タンクに入れない

(やけどの原因)

※ガラスジャグは空にしてから使用してください。お湯やコーヒーがあふれることがあります。

ガラスジャグを載せたまま本体を移動しない

(やけど、けがの原因)

電源が入っているときや、電源を切った後しばらくは、保温プレートに触れない

(やけどの原因)

ガラスジャグを直接火にかけたり、電子レンジで加熱したりしない

(やけど、けがの原因)

ガラスジャグを急激に加熱したり冷却しない

(破損、変形の原因)

水タンク（ガラス部分）を持って本体を移動しない

(けがの原因)

- 本体底部や背面の支柱を持って移動する

各部のなまえとはたらき



ご使用の前に各部の輸送用の粘着テープやシールを必ず外してください。

- お買い上げ後、製品に損傷がないこと、付属品が揃っていることを確認してください。
- ご使用前に「お手入れ（11 ページ）」を参照して、各部を洗ってください。

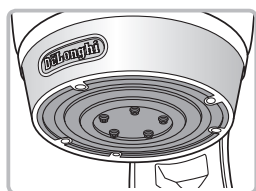
ふた持ち手

ふたを開けるときは
必ず持ち手を持ちます。

水タンク目盛

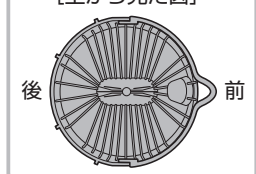
2～10 カップ

給湯口



フィルターホルダー

〔上から見た図〕



ふた

取っ手

ガラスジャグ

最大容量：約 1250mL

目盛りはでき上がりの目安です。

蒸気口

ふた

水タンク

最大容量：
約1250mL

検知スイッチ

電源プラグ

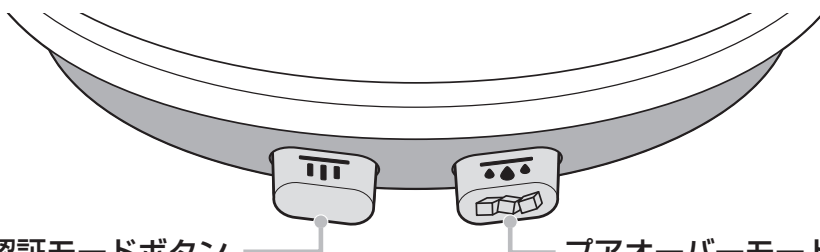
電源コード

保温プレート

ドリッパー（弁）

フィルターホルダー 置き

抽出ボタン



ECBC 認証モードボタン

- 抽出中はランプが白く点灯します。
高精細な抽出テクノロジーにより、コーヒーの最適な味を引き出し、ヨーロッパコーヒー ブリュエイング センター (ECBC) の認証を取得。抽出温度 (92 ~ 96℃) や抽出時間の精密なコントロールにより、パーフェクトなコーヒーを実現します。

おいしいコーヒーをいれるために大事なこと (ECBC)

- 抽出温度：92 ~ 96℃
- 抽出時間：4 ~ 6 分
- コーヒー粉と水の比率：7.5g/125mL

プアオーバーモード／アイスコーヒーモードボタン

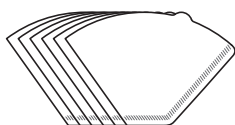
プアオーバーモード

- ボタンを 1 回押します。抽出中はランプが白く点灯します。
特別に設計された形状の給湯口と抽出制御により、ワンタッチで香り高く深みのあるコーヒーが入れられます。

アイスコーヒーモード

- ボタンを 2 回押します。抽出中はランプが青く点灯します。
蒸らしながら濃いめに抽出したコーヒーを氷で急冷することで、香り高くコクのあるアイスコーヒーが入れられます。

付属品



ペーパーフィルター (5 枚)

市販のものも使えます。
(サイズ 1 × 4 または 103)



計量スプーン

すり切り 1 杯：約 7.5g
小山盛り 1 杯：約 9.5g

おいしいコーヒーをお楽しみいただくために

- 抽出後なるべく 30 分以内に飲みましょう
長時間保温プレートに載せたままにすると、風味が悪くなります。
- 新しいコーヒー豆を使いましょう
2 ~ 3 週間程度で使いきれの量を買ひ、密閉できる容器に入れて冷暗所で保存します。
- 中細挽き、または中挽きのコーヒー豆を使いましょう
- お好みのコーヒー豆を見つけましょう
種類や焙煎度合によって、コーヒー豆にはそれぞれ特徴があります。酸味や苦味、コク、香りなどのお好みをお店の人に伝えて、アドバイスをもらうのもよいでしょう。

初めて使う前に

- 本製品は、左右、後部 5cm 以上、上部 20cm 以上空けて設置してください。
※室温が 0℃以下になる場所に設置しないでください。(故障の原因)
- 初めて使うときや長期間使わなかったときは、コーヒー粉を入れずに水だけで 2 回抽出し、内部を洗浄してください。

1 電源プラグをコンセントに差し込み、水タンク目盛の「Max」まで水を入れ、ふたをする

- 水タンク目盛の「Max」より上に、水を入れないでください。
- ふたの蒸気口が奥になるようにふたをしてください。



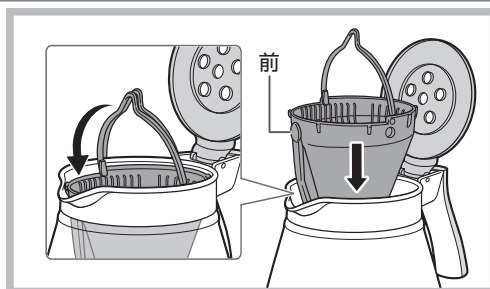
水タンクに水以外(お湯・牛乳など)を入れない
(故障、やけどの原因)



2 フィルターホルダーを空のガラスジャグに取り付ける

- フィルターホルダーの持ち手を、注ぎ口側(前)に倒してください。

※フィルターホルダーが正しく取り付けられていないと
ふたが閉まらない場合があります。



3 ガラスジャグを保温プレートに載せる

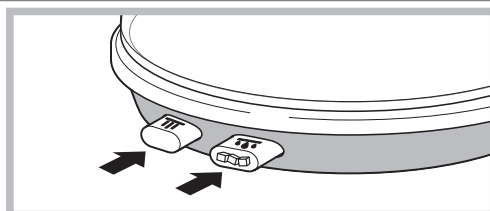
- ガラスジャグの注ぎ口を本体に対してまっすぐに取り付け、検知スイッチが押されていることを確認してください。

(8 ページ **検知スイッチ** 参照)



4 いずれかの抽出ボタンを押す

- 「ピー」と鳴って、押した抽出ボタンが点灯し、洗浄が始まります。



5 「ピー、ピー、ピー」と鳴って洗浄が終わったら、点灯している抽出ボタンを押して電源を切り、ガラスジャグのお湯を捨てる

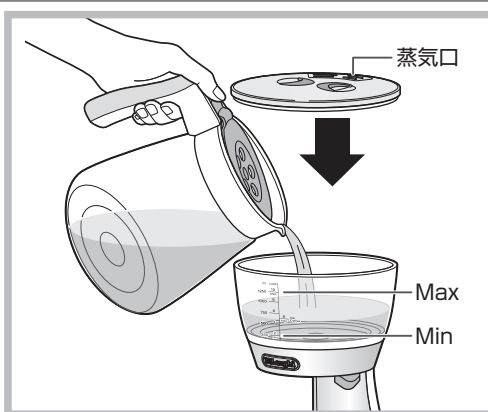
6 5分以上たってから、手順 1 ～ 5 をもう一度行う

コーヒーをいれる

- 長期間使わなかったときは、コーヒー粉を入れずに水だけで2回抽出し、内部を洗浄してください。(6ページ)
- 中細挽き、または中挽きのコーヒー粉をお使いください。

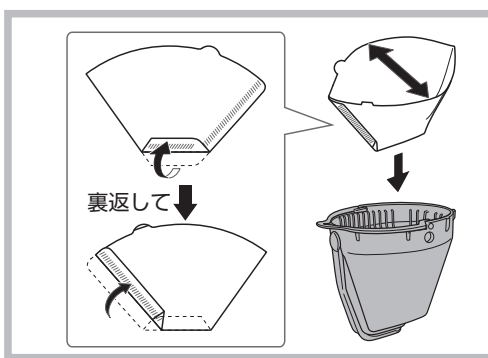
1 電源プラグをコンセントに差し込み、水タンク目盛のカップ数に合わせて水を入れ、ふたをする

- 水は水道水または軟水のミネラルウォーター(硬度 90mg/L 以下)をご使用ください。
※硬水を使うと石灰分がたまりやすくなります。(故障の原因)
- 水タンク目盛の「Max」より上に、「Min」より下に水を入れないでください。
- ふたの蒸気口が奥になるようにふたをしてください。



2 ペーパーフィルターを折り、フィルターホルダーに取り付ける

- ペーパーフィルターがフィルターホルダーからはみ出していないことを確認してください。



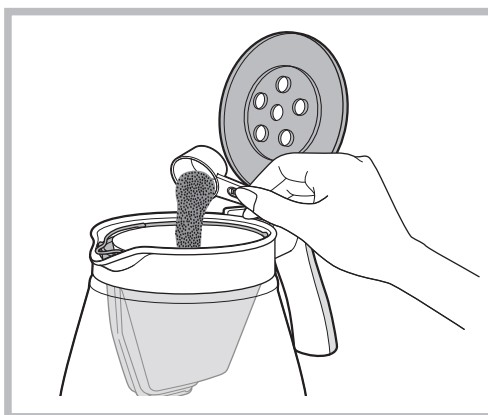
3 ガラスジャグにフィルターホルダーを取り付け、コーヒー粉を入れる

- フィルターホルダーの取り付けかたは、6ページを参照してください。
[カップ数とコーヒー粉の量の目安]

カップ数 (1カップ:約125mL)	コーヒー粉の量* 計量スプーン (すり切り:約7.5g)
2カップ	2杯
4カップ	4杯
6カップ	6杯
8カップ	8杯
10カップ	10杯

* 計量スプーン(すり切り)10杯を超える量を入れないでください。

※ ECBC 認証モードの推奨値は水1Lに対してコーヒー粉 60g (水125mLに対してコーヒー粉 7.5g) です。



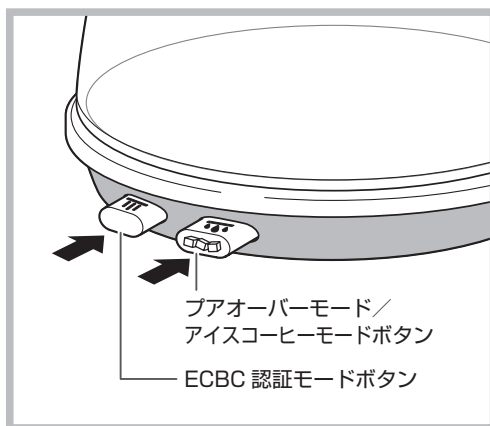
4 ガラスジャグのふたを閉じ、保温プレートに載せる

- ガラスジャグの注ぎ口を本体に対してまっすぐに取り付け、検知スイッチが押されていることを確認してください。
(8 ページ **検知スイッチ** 参照)



5 抽出ボタンを押す

- 「ピー」と鳴って、抽出ボタンが点灯し、抽出が始まります。
- 途中で抽出を止めるときは、点灯している抽出ボタンを押して電源を切ります。
- 抽出中の蒸気音（「ポコポコ」、「シューッ」）がなくなり、給湯口からの給湯が完全に終わったら、ガラスジャグを外してください。



検知スイッチ

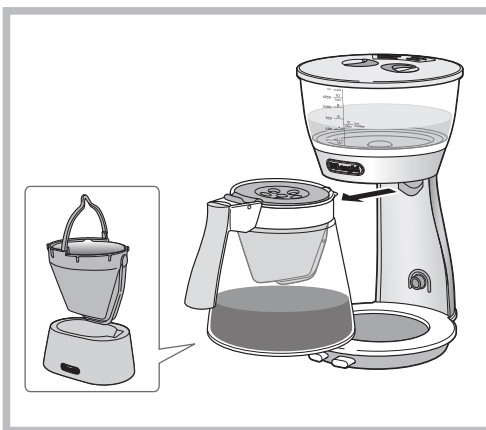
- 保温プレートにガラスジャグが正しく取り付けられていることを検知します。
正しく取り付けられていないと給湯されません。



抽出中にガラスジャグを保温プレートから外さない（やけどの原因）

6 抽出が終わったら、フィルターホルダーをガラスジャグから取り外す

- 「ピー、ピー、ピー」と鳴り、給湯が完了し、保温モードに切り替わります。コーヒーが完全にガラスジャグに落ちきるまで、30～60秒ほどお待ちください。豆の量、豆の挽き具合、抽出量によってコーヒーが落ちきるまでの時間は異なります。
- 保温モードになった後、約40分後に電源が自動で切れます。(オートオフ)
- ガラスジャグのふたを開け、フィルターホルダーの持ち手を持ち、フィルターホルダー置きに置きます。



高温注意

使用中および使用後しばらくは、高温部に直接触れない（やけどの原因）

7 コーヒーをカップに注ぐ

- ガラスジャグのふたを閉じてから注ぎます。
- コーヒーは熱くなっていますので、やけどに注意し、カップにゆっくり注いでください。
- コーヒーを飲み切った場合は、必ず抽出ボタンを押して保温を終了してください。



8 点灯している抽出ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

- 続けてコーヒーをいれるときは、5分以上たってからいれてください。



抽出直後に水タンクに水を入れない（やけどの原因）

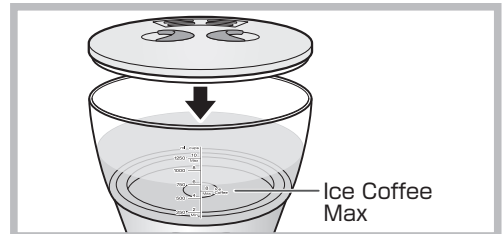
アイスコーヒーをいれる

- アイスコーヒー用の中細挽き、または中挽きのコーヒー粉をお使いください。
- コーヒー粉と氷の量はお好みにより加減してください。
- 詳細な手順は「コーヒーをいれる」(7ページ)をご参照ください。

以下の手順は8杯分(最大量)をいれる場合です

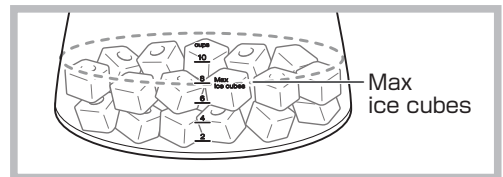
準備

- 1** 電源プラグをコンセントに差し込み、水タンク目盛の Ice Coffee Max に合わせて水を入れ、ふたをする



- 2** 空のガラスジャグの Max ice cubes の線まで氷を入れる

- 線を越えて氷を入れないでください。



- 3** ペーパーフィルターを折り、フィルターホルダーに取り付ける

- 4** ガラスジャグにフィルターホルダーを取り付け、コーヒー粉を計量スプーン(すり切り)8杯分入れる

水、コーヒー粉、氷の量の目安(お好みにより加減してください)

カップ数 *1	水	コーヒー粉(すり切り)	氷 *2
8 カップ	625mL	8 杯	540g (約 36 個)
6 カップ	450mL	6 杯	405g (約 27 個)
4 カップ	375mL	4 杯	270g (約 18 個)

*1 2カップは作れません。

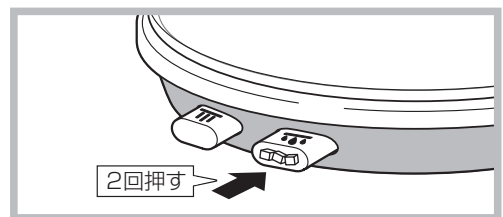
*2 家庭用冷蔵庫で作った約15gの氷を使用した場合です。

- 5** ガラスジャグのふたを閉じ、保温プレートに載せる

抽出

- 6** プアオーバーモード／アイスコーヒーモードボタンを2回押す

- 「ピー」と鳴って、ボタンが青く点灯し抽出が始まります。
- 2回連続で素早く押さないで、プアオーバーモードでの抽出となる場合があります。



- 7** 抽出が終わったら、フィルターホルダーをガラスジャグから取り外す

- アイスコーヒーモードでは保温モードになりません。

- 8** コーヒーをグラスに注ぐ

- 9** 電源プラグをコンセントから抜く

抽出終了

お手入れ



- 電源を切って電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷えてからお手入れする
(感電、けが、やけどの原因)
- ベンジン・シンナー・アルコール・研磨剤・漂白剤は、使わない
(傷、変色の原因)
- たわし類・メラミンスポンジは、使わない
(傷の原因)
- 食器洗い機・食器乾燥機は使わない
(変色の原因)

水洗いできます

フィルターホルダー、ガラスジャグ、計量スプーン、フィルターホルダー置き、本体ふた

スポンジと台所用中性洗剤で洗い、水ですすぐ

※フィルターホルダー内のパッキンが外れないようご注意ください。パッキンが外れるとドリッパー（弁）が外れてしまい正しく機能しません。



乾いた布巾で水分を拭き取り、乾燥させる

水洗いできません

本体

よく絞った濡れ布巾で拭いた後、乾いた布巾で拭く

- 蒸気が水滴となって水タンクに付着しているときは、乾いた布で拭いてください。



石灰の除去

抽出ボタンが両方点滅したら（約60回抽出すると点滅します）

使っているうちに、水に含まれる石灰成分が内部に付着します。故障の原因になるため、以下の手順で石灰の除去を行ってください。除石灰剤は、お求めの販売店または当社オンラインショップ（13 ページ）でお求めください。

1. 電源プラグをコンセントに差し込み、水タンクに除石灰剤100mLと目盛の「8cups」まで水を入れ、ふたをする
2. フィルターホルダーを空のガラスジャグに取り付け、ガラスジャグを保温プレートに載せる
3. 両方の抽出ボタンを同時に約2秒間長押しする
4. 「ピー」と鳴って、抽出ボタンが点灯し、お湯が出ます
5. 「ピー、ピー、ピー」と鳴って洗浄が終わり、抽出ボタンが消灯したら、ガラスジャグのお湯を捨てる
6. 5分以上たってから、「初めて使う前に」（6 ページ）を参照し、水だけで抽出を繰り返す

故障かな？

●以下を確認しても正常に動かない場合は、当社（14 ページ）にご連絡ください。

症状	確認すること	対処のしかた
お湯が出ない	水タンクに水が入っていますか？	水タンク目盛 2 ～ 10 に合わせて、水タンクに水を入れてください。（7 ページ）
	ガラスジャグが検知スイッチから離れていませんか？	ガラスジャグをまっすぐと奥まで差し込み、検知スイッチを押してください。（8 ページ）
水やコーヒーが漏れる	ペーパーフィルターを 2 枚以上使用していませんか？	ペーパーフィルター 1 枚を正しく取り付けてください。
	細挽きのコーヒー粉を使っていますか？	中細挽き、または中挽きのコーヒー粉をお使いください。
	計量スプーン 10 杯を超えて粉を入れていませんか？	コーヒー粉を計量スプーンすり切り 10 杯以内にしてください。
ガラスジャグにコーヒーのカスが入る	細挽きのコーヒー粉や粉量を多く使っていますか？	中細挽き、または細挽きのコーヒー粉を適量お使いください。
	ペーパーフィルターを取り付け忘れていませんか？	ペーパーフィルターを取り付けてください。
抽出に時間がかかる	ペーパーフィルターを 2 枚以上使用していませんか？	ペーパーフィルター 1 枚を正しく取り付けてください。
	フィルターホルダーにコーヒー粉が詰まっていますか？	フィルターホルダーをお手入れしてください。（11 ページ）
	細挽きのコーヒー粉を使っていますか？	中細挽き、または中挽きのコーヒー粉をお使いください。
	石灰の除去をしていますか？	定期的に石灰の除去をしてください。（11 ページ）
コーヒーがガラスジャグからあふれる	水タンク目盛の「Max」より多く水を入れていませんか？	水タンク目盛 2 ～ 10 に合わせて、水タンクに水を入れてください。（7 ページ）
ECBC 認証モードボタンが点滅する	水タンクが空焚き状態になっていませんか？	電源プラグをコンセントから抜き、30 分以上冷ましてからお使いください。
抽出中にカチンと音が鳴る	抽出中に給湯弁が開閉している音で故障ではありません。	

仕様

製品名称		デロンギ クレシドラ ドリップコーヒーマーカー
型式番号		ICM17270J
定 格	電圧／周波数	交流 100V 50-60Hz
	消費電力	1200W
外形寸法（約）		幅 190 × 奥行 285 × 高さ 335（mm）
質量（約）		2.5kg（ガラスジャグ取り付け時）
水タンク容量（約）		1250mL（Max の目盛り）
ガラスジャグ容量（約）		1250mL（Max の目盛り）
付属品		計量スプーン、ペーパーフィルター（5 枚）

別売品

以下の部品は、お求めの販売店または当社オンラインショップでご購入いただけます。

■ガラスジャグ

■コーヒーマシン用除石灰剤（2 個入り）

デロンギ・ジャパン オンラインショップ URL <http://shop-casa-delonghi.com/>



この製品は欧州 RoHS 指令に適合した製品です。

欧州 RoHS 指令とは、「電気・電子機器の特定有害物質の使用制限」を規定した欧州連合（EU）による指令です。

この製品は、鉛及びその化合物、水銀及びその化合物、六価クロム化合物、カドミウム及びその化合物、ポリブロモビフェニル（PBB）、ポリブロモジフェニルエーテル（PBDE）の含有率が、いずれも含有率基準値以下であり、環境に配慮して製造されました。

アフターサービス

- 1) 使用中に異常(★)が生じた場合は、直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、12ページ「故障かな？」を調べても正常に機能しない場合は、お求めの販売店または当社（下記参照）にご相談ください。

〈★以下のような場合には、点検および修理が必要です〉

- ・使用中、電源プラグ・コード、コンセントが異常に熱くなる
- ・電源プラグ・コードが変形、破損している
- ・本体に水などの液体をこぼした
- ・本体に強い衝撃を与えた
- ・取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない

2) 万一、故障／損傷した場合は

保証書に記載されている販売店に、1. お買い上げ日 2. 製品名と型式番号 3. 故障の状況 を連絡のうえ、修理を依頼してください。

※修理品の送付先については、お電話またはホームページ（下記）でご確認ください。

※修理品を送付する場合は、必ず故障の状況を記載したメモと、保証期間内の場合は保証書を同封してください。

※本製品のメーカー保証範囲は保証規定によります。保証期間を経過した製品についても、お問い合わせや有償での修理をうけたまわります。（補修用性能部品保有期間内）

3) 補修用性能部品の保有期間について

当社では、このドリップコーヒーマーカーの補修用性能部品について、最終輸入日を起点に5年間保有しております。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

4) まごころ点検について



保証期間（1年）が過ぎて、少しでも気になる点がございましたら、安全のために専門技術者による点検（お預かり）をおすすめします。点検の依頼および料金などにつきましては、下記までお問い合わせください。

5) デロンギ再資源化システムについて

ご不要になった製品は、当社が費用を負担し、素材ごとに分別、再資源化いたします。

製品のお預かり方法など、再資源化のご相談は、下記までご連絡ください。



送料について：送料はお客様のご負担（元払い）となります。あらかじめご了承ください。

梱包について：製品の入っていた箱（元箱）に入れてお送りください。元箱がない場合は、段ボール箱に入れるか、エアパッキンにくるんでください。

※修理や点検と区別するため、外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。

※送付先については、お電話またはホームページ（下記）でご確認ください。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または下記までお問い合わせください。

デロンギ お客様サポートセンター（受付時間：土、日、祝日を除く毎日 9:30～18:00）

TEL. 0120-804-280 / FAX. 0120-956-020

〒201-0012 東京都狛江市中和泉 5-33-37

ホームページでのお問い合わせ（URL） <http://www.delonghi.co.jp/support>

保証書

ご販売店様へ、※印欄は必ずご記入ください。

持込修理

製品名：デロンギ クレシドラ ドリップコーヒーマーカー		型式番号：ICM17270J	
お客様	ご氏名： _____ 様	TEL： _____	
	ご住所：〒 _____		
販売店	※店名・住所・TEL： _____		
	_____ 印		
※お買い上げ日： _____ 年 _____ 月 _____ 日		保証期間：お買い上げ日より1年間	保証対象：本体

見本

保証規定

本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合に、本書記載内容の範囲で無料修理を行うことをお約束するものです。

- お買い上げの日から表記期間中故障が発生した場合は、本書と購入証明（レシート、領収書、配送伝票でも可）をご準備の上、下記までご連絡ください。お買い上げ販売店独自の保証やその他サービスがある場合は販売店へご相談ください。
- ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで本保証書に記入しているお買い上げの販売店にご相談ができない場合には、下記に直接ご連絡ください。
- 次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。なお、有料修理の場合の送料はお客様のご負担となりますので、ご了承ください。
 - イ. 本書のご提示がない場合
 - ロ. 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障・損傷
 - ハ. お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送などによる故障・損傷
 - ニ. 火災・公害・塩害・ガス害（硫化ガスなど）・異常電圧・定格外の使用電源（電圧、周波数）および地震・雷・風水害、その他天災地変など外部に原因がある故障・損傷
 - ホ. 一般家庭用以外（例えば業務用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障・損傷
 - ヘ. 購入証明（レシート、領収書、配送伝票でも可）が無く、お買い上げ日、お客様名、販売店名が確認できない場合、あるいは字句を書き換えられた場合

ト. 消耗品が損耗し、取り替えが必要な場合
チ. 付属品および本体から取り外せる部品の破損・紛失

- 修理に際して代替部品に交換する場合があります。この場合、交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理、処分させていただきます。
- 故障状態、その他の事情により、修理に代えて同機種での製品交換、または同等能力を有する他機種への交換となる場合があります。
- 故障によりお買い上げの製品が使用できないことによって生じた損害については補償いたしません。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- この保証書は、本書に記載されている期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、下記にお問い合わせください。
- 補修用性能部品の保有期間につきましては取扱説明書「アフターサービス」をご覧ください。

お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために、記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

デロンギ・ジャパン株式会社

〒201-0012 東京都狛江市中和泉 5-33-37

TEL. 0120-804-280 ホームページ <http://www.delonghi.co.jp>

※この取扱説明書に記載されている連絡先の名称、電話番号、所在地、営業時間は変更することがありますのでご了承ください。

切り取り線

こんなときは

